

6月定例会のあらまし

一般会計に2,808万円を追加

建築関係資料電子化事業などを実施

6月定例会は、6月5日から6月25日まで開かれました。

市長から税条例改正の専決処分の承認、一般会計補正予算など10件が提案され、すべて原案どおり可決しました。

また、議員より議長辞職を求める決議案が提出され、採決の結果、賛成少数で否決しました。

そのほか、請願3件を審議し、2件を採択、1件を不採択と決定し、最終日に提出された議員発議の意見書を可決し、21日間の会期を閉じました。

外

国人登録法の廃止等に伴い、関係する五つの条例が一括して改正されました。日本に在留する外国人も、日本人と同様に住民基本台帳法の適用対象となり、基礎的行政サービスが提供されるようになります。(3ページに掲載しています。)

あ

ま市国民健康保険税条例の一部が改正され、東日本大震災により被災された国民健康保険加入者の負担の軽減が図られます。(3ページに掲載しています。)

一

一般会計の補正予算を可決しました。2808万2千円を追加し、252億838万2千円となりました。追加された内

容は、コミュニティ助成金、建築関係資料電子化事業委託料(緊急雇用創出事業)、下萱津コミュニティ防災センターの浴槽修繕料、理科支援員配置費(甚目寺西小)などです。(5、6ページに掲載しています。)

市

長の報告では、23年度一般会計予算の繰越(6ページ)などが報告されました。

任

期満了を迎えるあま市教育委員会委員(小笠原英司氏)およびあま市公平委員会委員(佐藤益美氏)の再任については、同意をし、人権擁護委員(横井公雅氏)の再任については適任と答申しました。

一

般質問は、6月12日に行われました。26人の議員のうち、11人が登壇。通学路の安全対策など、多岐にわたって質問が出されました。(質問の内容は9ページから14ページに掲載しています。)

議

案等審議結果一覧(19ページ)に掲載しています。